



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月10日  
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社  
コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎  
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 畑 謙一 (TEL) 03-6742-8550  
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	403,316	17.0	55,977	△15.0	54,624	△16.3	40,321	△19.3	40,321	△19.3	186,667	221.0
2022年3月期第2四半期	344,637	21.7	65,857	57.5	65,282	60.6	49,988	57.4	49,988	57.0	58,146	209.0
	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2023年3月期第2四半期	53.37		53.35									
2022年3月期第2四半期	66.11		66.07									

(参考) 調整後営業利益 2023年3月期第2四半期 70,429百万円 2022年3月期第2四半期 74,137百万円

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,658,931	1,171,105	1,171,105	1,171,105	1,171,105	70.6	1,171,105	70.6
2022年3月期	1,473,693	1,012,313	1,012,313	1,012,313	1,012,313	68.7	1,012,313	68.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2023年3月期	—	19.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期における1株当たり中間配当及び期末配当をそれぞれ18円から19円に変更しております。詳細については、本日(2022年11月10日)公表の「剰余金の配当(第2四半期末配当)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	775,000	10.2	151,000	12.3	132,000	13.8	100,000	12.6	133.88	133.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2022年5月12日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得状況の影響を考慮して計算しております。

・通期想定レート：1ドル=130円、1ユーロ=137円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	759,521,040株	2022年3月期	759,521,040株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	6,354,109株	2022年3月期	3,194,976株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	755,432,665株	2022年3月期2Q	756,100,350株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(売却目的で保有する資産) .....	12
(非金融資産の減損) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日、以下「当第2四半期」)においては、前年度に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響を受けて減少していた医療需要が回復、為替も寄与し、当社グループの販売は概ね好調に推移しました。営業利益については、インフレの影響により製造費が上昇しており、減益となりました。

当第2四半期の業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
売上収益	344,637	403,316	17.0	5.1
売上総利益	186,244	206,992	11.1	2.0
調整後営業利益	74,137	70,429	△5.0	△9.6
営業利益	65,857	55,977	△15.0	△16.3
税引前四半期利益	65,282	54,624	△16.3	—
四半期利益	49,988	40,321	△19.3	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	49,988	40,321	△19.3	—

当第2四半期の地域別売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

地域	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
日本	102,412	101,235	△1.1	△1.1
欧州	68,307	77,181	13.0	5.2
米州	106,343	138,096	29.9	7.1
中国	30,124	38,371	27.4	8.0
アジア他	37,449	48,430	29.3	14.3
海外計	242,225	302,080	24.7	7.8
合計	344,637	403,316	17.0	5.1

<売上収益>

売上収益は、前年同期比17.0%増の4,033億円となりました。

日本は、COVID-19の第7波の影響を受けて医療需要の回復が遅れており、前年同期比1.1%の減収となりました。

海外は、医療需要の回復が進み、3つのカンパニーがそろって二桁以上伸長し、前年同期比24.7%の増収となりました。為替影響を除く伸長率で見ても、アジア他の14.3%を筆頭に全地域で伸び、海外計で7.8%となりました。

<利益>

売上総利益は、増収効果により前年同期比11.1%増の2,070億円となりました。但し、インフレの影響を受けてコストは増加したため、売上伸長を下回る伸び率となりました。

また、前年度にはCOVID-19の影響により抑制されていた販売促進活動がほぼ平常化したことにより、調整後営業利益は、前年同期比5.0%減の704億円となりました。

同様に、営業利益、税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、いずれも減益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

なお、前連結会計年度より、従来の「ホスピタルカンパニー」のセグメント名称を「メディカルケアソリューションズカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
心臓血管カンパニー	売上収益	194,341	235,405	21.1	6.1
	(日本)	25,005	24,917	△0.4	△0.4
	(海外)	169,335	210,487	24.3	7.1
メディカルケアソリューションズ カンパニー	売上収益	91,961	93,805	2.0	△1.1
	(日本)	71,726	70,749	△1.4	△1.4
	(海外)	20,234	23,056	13.9	△0.1
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	58,210	73,980	27.1	11.6
	(日本)	5,555	5,444	△2.0	△2.0
	(海外)	52,655	68,536	30.2	13.1

#### <心臓血管カンパニー>

日本は、COVID-19の第7波の影響を受けて医療需要の回復が遅れており、前年同期比で若干の減収となりました。その中において、血管事業は新製品の効果により売上収益が大きく増えました。海外は、医療需要の回復・成長とともに、新製品が寄与した血管事業をはじめ、全事業が好調で、売上収益は前年同期比24.3%増となりました。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比21.1%増の2,354億円となりました。

#### <メディカルケアソリューションズカンパニー>

日本は、ホスピタルケアソリューション事業の医薬品や癒着防止材、さらにファーマシューティカルソリューション事業が伸びましたが、医療需要の回復遅れが影響して、微減となりました。海外は、13.9%の増収と堅調でした。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比2.0%増の938億円となりました。

#### <血液・細胞テクノロジーカンパニー>

日本は、医療需要の回復遅れが響いて減収となりました。海外は、アジア他等における輸血需要の回復、欧米のアフェレシス治療の好調な需要等が牽引して、前年同期比30.2%増の大幅な増収となりました。その結果、グローバルの売上収益は前年同期比27.1%増の740億円となりました。なお、当第2四半期に、米国において原料血漿採取システムの販売を開始しました。

（2）財政状態に関する説明

資産合計は、1,852億円増加して1兆6,589億円となりました。これは主に、為替相場が円安に推移した影響及び生産設備や新ITシステムへの投資等により有形固定資産が345億円増加、のれん及び無形資産が681億円増加したことによるものです。

負債合計は、264億円増加して4,878億円となりました。これは主に、上記同様の為替の影響等により社債及び借入金が137億円増加、その他の流動負債が68億円増加したことによるものです。

資本合計は、1,588億円増加して1兆1,711億円となりました。これは主に、四半期利益の計上により403億円増加、上記同様の為替の影響等に伴うその他の包括利益の計上により1,463億円増加した一方で、自己株式の取得により144億円減少、剰余金の配当により136億円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点では不透明なCOVID-19の再拡大の動向、またその影響による需要減やサプライチェーンの混乱と製造費のインフレ、工場の操業度低下のリスクについては、引き続き注視していく必要がありますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品やサービスの開発・販売及び拡大、さらなる原価改善、販管費の効率的な運用等に注力してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	205,251	212,550
営業債権及びその他の債権	135,998	144,515
その他の金融資産	63	290
棚卸資産	198,536	235,316
未収法人所得税等	778	918
その他の流動資産	18,086	24,446
小計	558,713	618,039
売却目的で保有する資産	—	5,331
流動資産合計	558,713	623,370
非流動資産		
有形固定資産	333,864	368,399
のれん及び無形資産	514,801	582,932
持分法で会計処理されている投資	4,133	3,725
その他の金融資産	25,937	41,665
繰延税金資産	20,198	22,424
その他の非流動資産	16,043	16,414
非流動資産合計	914,979	1,035,561
資産合計	1,473,693	1,658,931

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	81,545	82,344
社債及び借入金	1,121	11,324
その他の金融負債	7,228	7,414
未払法人所得税等	14,104	19,951
引当金	499	395
その他の流動負債	73,222	80,055
小計	177,721	201,485
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	776
流動負債合計	177,721	202,261
非流動負債		
社債及び借入金	224,875	228,344
その他の金融負債	30,297	31,172
繰延税金負債	12,746	11,526
退職給付に係る負債	5,811	5,278
引当金	113	136
その他の非流動負債	9,813	9,106
非流動負債合計	283,658	285,564
負債合計	461,379	487,826
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,921	51,923
自己株式	△6,229	△20,428
利益剰余金	846,978	876,498
その他の資本の構成要素	80,926	224,395
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,012,313	1,171,105
資本合計	1,012,313	1,171,105
負債及び資本合計	1,473,693	1,658,931



（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上収益	344,637	403,316
売上原価	158,393	196,323
売上総利益	186,244	206,992
販売費及び一般管理費	120,215	146,770
その他の収益	1,128	3,277
その他の費用	1,299	7,522
営業利益	65,857	55,977
金融収益	439	929
金融費用	1,342	1,978
持分法による投資損益（△は損失）	326	△303
税引前四半期利益	65,282	54,624
法人所得税費用	15,294	14,303
四半期利益	49,988	40,321
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	49,988	40,321
四半期利益	49,988	40,321
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	66.11	53.37
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	66.07	53.35

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期利益	49,988	40,321
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	265	1,889
確定給付制度の再測定	15	918
純損益に振り替えられることのない 項目合計	280	2,808
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	7,734	143,340
キャッシュ・フロー・ヘッジ	64	452
ヘッジコスト	78	△254
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	7,878	143,538
その他の包括利益	8,158	146,346
四半期包括利益	58,146	186,667
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	58,146	186,667
四半期包括利益	58,146	186,667

（注） 上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2021年4月1日時点の残高	38,716	51,829	△6,838	775,078	△2,123	856,662	856,662
四半期利益	—	—	—	49,988	—	49,988	49,988
その他の包括利益	—	—	—	—	8,158	8,158	8,158
四半期包括利益合計	—	—	—	49,988	8,158	58,146	58,146
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	△1	△1
自己株式の処分	—	△4	30	—	△25	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△11,340	—	△11,340	△11,340
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	15	△15	—	—
株式報酬取引	—	10	91	—	17	119	119
転換社債型新株予約権付 社債の転換	—	△8	378	—	—	369	369
所有者との取引額合計	—	△3	499	△11,324	△23	△10,851	△10,851
2021年9月30日時点の残高	38,716	51,825	△6,338	813,741	6,011	903,957	903,957

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2022年4月1日時点の残高	38,716	51,921	△6,229	846,978	80,926	1,012,313	1,012,313
四半期利益	—	—	—	40,321	—	40,321	40,321
その他の包括利益	—	—	—	—	146,346	146,346	146,346
四半期包括利益合計	—	—	—	40,321	146,346	186,667	186,667
自己株式の取得	—	△9	△14,405	—	—	△14,415	△14,415
自己株式の処分	—	20	83	—	△103	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△13,613	—	△13,613	△13,613
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	2,812	△2,812	—	—
株式報酬取引	—	△8	123	—	38	153	153
所有者との取引額合計	—	2	△14,199	△10,801	△2,877	△27,876	△27,876
2022年9月30日時点の残高	38,716	51,923	△20,428	876,498	224,395	1,171,105	1,171,105

（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

前連結会計年度より、従来の「ホスピタルカンパニー」のセグメント名称を「メディカルケアソリューションズカンパニー」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間につきましても、変更後の名称で記載しております。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリュー ションズカン パニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	194,341	91,961	58,210	344,513	124	344,637
セグメント利益 (調整後営業利益) (調整項目)	50,782	13,440	11,755	75,978	△1,840	74,137
買収無形資産の償却費	△3,623	—	△4,146	△7,769	△144	△7,913
一時的な損益						△366
営業利益						65,857
金融収益						439
金融費用						△1,342
持分法による投資損益						326
税引前四半期利益						65,282

（注） 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額124百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- セグメント利益の調整額△1,840百万円には、棚卸資産の調整額△535百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△1,184百万円等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリューションズカン パニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	235,405	93,805	73,980	403,191	124	403,316
セグメント利益 (調整後営業利益) (調整項目)	52,905	8,147	9,102	70,154	275	70,429
買収無形資産の償却費	△4,446	—	△5,060	△9,506	△11	△9,518
一時的な損益(注) 2						△4,934
営業利益						55,977
金融収益						929
金融費用						△1,978
持分法による投資損益						△303
税引前四半期利益						54,624

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額124百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
  - 2) セグメント利益の調整額275百万円には、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△1,524百万円、棚卸資産の調整額△248百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△4,934百万円には、技術資産の減損△1,756百万円、のれんの減損△3,524百万円、事業再編費用△985百万円、条件付対価の公正価値変動1,333百万円等が含まれております。

（売却目的で保有する資産）

売却目的で保有する資産及び直接関連する負債の内訳は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
売却目的で保有する資産		
棚卸資産	—	1,127
有形固定資産	—	262
のれん及び無形資産	—	3,940
合計	—	5,331
売却目的で保有する資産に直接関連する負債		
その他の流動負債	—	23
繰延税金負債	—	753
合計	—	776

当第2四半期連結会計期間における売却目的で保有する資産及び負債は、血液・細胞テクノロジーカンパニーの自家生物製剤事業とメディカルケアソリューションズカンパニーの栄養食品及び関連製品に関する資産につき、それぞれ売却の意思決定を行ったことから売却目的保有に分類したものです。

自家生物製剤事業については、グローバスメディカル社と譲渡契約を締結しております。売却コスト控除後の公正価値が帳簿価額を下回っているため、当該処分グループについては、売却コスト控除後の公正価値により測定しております。なお、公正価値は、グローバスメディカル社との譲渡契約における売却予定価格に基づいて決定しており、この公正価値測定はレベル3の公正価値に区分されます。これによりのれん及び無形資産について認識した減損損失3,524百万円は、当第2四半期連結累計期間において要約四半期連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

なお、当該事業の譲渡は2022年10月11日に完了しました。

栄養食品については、三井製糖株式会社（現 DM三井製糖株式会社）及びニュートリー株式会社と資産譲渡契約を締結しております。売却コスト控除後の公正価値が帳簿価額を上回っているため、当第2四半期連結累計期間において、当該売却目的保有への分類により生じた利得又は損失はありません。

なお、当該資産の譲渡は2022年12月初旬を予定しております。

（非金融資産の減損）

当第2四半期連結累計期間において、一部技術資産の今後の使用が見込まれなくなったため、当該技術資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失1,756百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値をゼロとしております。当該減損損失は、要約四半期連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

自家生物製剤事業を売却目的で保有する資産及び直接関連する負債へ分類したことによる減損損失については、上記「売却目的で保有する資産」に記載しております。

（重要な後発事象）

（重要な設備投資）

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、将来の増産を見据え、工場新棟を甲府工場内（山梨県中巨摩郡昭和町）に新設することを決議しました。当該決議に基づく投資総額は307億円を見込んでおります。

当該設備投資による当連結会計年度の業績に与える影響は軽微です。